

「中国地域在住者の観光意識に関する調査」について

一般社団法人中国経済連合会（会長 芦谷茂）は、公益社団法人日本観光振興協会中国支部（支部長 佐々木茂喜）と共同で、この度、中国地域在住者を対象に実施した観光意識に関する調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

本調査では、観光に対する意識（混雑回避意向、訪問先意向等）、平日旅行意向、観光地の情報取得方法、体験型コンテンツ参加意向、2025年開催予定の大阪・関西万博に対する意向などについて、アンケート調査により把握・分析し、観光振興に向けた基礎資料となるようとりまとめております。

1. アンケート調査手法・サンプル数等

- 実施日 2024年1月30日～2月4日
- 調査手法 インターネットにより実施
- サンプル数 中国地域 1,000件、男女同数
(各県 200件：20代、30代、40代、50代、60代以上の5階層 40サンプルずつ)

2. 主な調査結果

(1) 昨年度からの継続調査項目

○観光において重視・意識する項目

- ・「食事は地元のもの食べたい」、「混雑しているところには行きたくない」が約8割、「海外旅行より国内旅行を楽しみたい」が7割超と高いニーズがある一方、旅先での交流、環境配慮、バリアフリーの確認等のニーズは低い。
- ・昨年度調査と比較すると、ほとんどの項目で「重視・意識する/しない」の傾向に大きな変化は見られないが、「旅行会社主催の団体ツアーは避けたい」、「移動手段は公共交通よりも自家用車やレンタカーが良い」、「居住地のある県内あるいは近隣の旅行を楽しみたい」のポイントが大きく減少しており、コロナ禍により高まったこれらのニーズがやや落ち着きを見せている。

○平日旅行意向

- ・昨年度調査と同様、7割以上で平日旅行の意向があり、特に60代以上はその傾向が強い。ただし、理由については「混雑回避」が増加し、「お得に旅行できる」が減少した。

(2) 今年度の新規調査項目

○観光地の情報取得方法

- ・「テレビ番組、雑誌、書籍」と「SNS」の割合が高く、続いて「旅行会社の情報」、「現地の観光協会等の情報」の順となっている。「テレビ番組、雑誌、書籍」の割合は、男性60代以上と女性40代以上が高く、男女ともに20代が低い。一方、「SNS」の割合は、女性20代が最も高く、次いで男性20代、女性30代の順となっており、男女ともに60代以上は低い。

○体験型コンテンツ参加意向

- ・「名産品等の食べ歩きツアー」、「夜景鑑賞やナイトショーなどのナイトコンテンツ」の順で割合が高い。また、男性では「スポーツ観戦」、女性では「リラクゼーション体験」が広い世代で高いニーズとなっている。

3. まとめ

○国内旅行者数増加に向けた取り組み

- ・性別や年代を問わず、旅行の際に重視／意識する項目として、「混雑していない」「国内旅行」等のニーズが高い。また、全体的に「温泉地」「滞在型」のニーズも比較的高く、体験型コンテンツの参加意向では、女性を中心に食べ歩きや夜景観賞などの手軽なコンテンツのニーズが比較的高い。
- ・こうしたことから、混雑回避へのニーズに配慮しつつ、「温泉などのゆっくりとした滞在型観光」「地産地消」「手軽なコンテンツ」等をキーワードとして対応することが重要と考えられる。

○混雑回避に向けた観光客数の平準化

- ・性別や年代を問わず、「平日に旅行したい」と回答した人が7割以上あった一方、50代以下の現役世代の男女を中心に「平日に旅行できない・考えられない」と回答した人も約3割と一定数を占めていることから、特に60代以上をターゲットとした平日限定割引等、平日需要を高める方策により観光客数の平準化が期待できる。

○属性を踏まえた情報発信

- ・観光地の情報取得方法は、20～30代の若い世代では「SNS」が多く、年齢が上がるに連れ「テレビ番組、雑誌、書籍」と回答する割合が多い傾向にある。このため、インフラツーリズム、聖地巡礼、食べ歩き、ナイトコンテンツ等の若年層のニーズが高いコンテンツの発信にはSNS、高齢層を中心にニーズが高い平日旅行等の発信にはテレビ・雑誌等のメディアを利用するといった使い分けが必要である。

○その他、観光振興のための取り組み

- ・大阪・関西万博について、約7割の人が「見に行かない」「あまり見に行きたいとは思わない」と回答しており、開催自体を知らない人も約1割いることから、具体的な開催内容を含めた情報発信と今後の機運醸成が求められる。
- ・観光による地域活性化を期待する一方で、「オーバーツーリズムによる問題の発生」や「観光客のマナー違反」に対する懸念があり、その対策についても合わせて取り組む必要がある。

以上

- ・本調査結果は、当連合会ホームページに掲載しています。

URL <http://www.chugokukeiren.jp> (中国経済連合会トップ—提言・要望・報告)

- ・調査内容に関するご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

中国経済連合会 (担当：菅坂 TEL：082-242-4511 FAX：082-245-8305)